

Question

7月以降について

▶ 問11

殺処分従事者の作業期間が長期になりました。あなたは何に注意しますか？

注意した点は、以下の通りでした

▶ 答11

タミフルを10日以上服用することは、薬事上問題があります。
(注)台湾、韓国では弱毒性の高病原性鳥インフルエンザでも、投与を行っていたが、
本件では当時のタミフル備蓄量なども考慮し、国と協議の上 8月1日にタミフル服
用を中止しました。

▷ 参考資料：茨城県で発生した鶏の高病原性鳥インフルエンザのまとめ

▷ 参考資料：健康管理を行った殺処分などの従事者

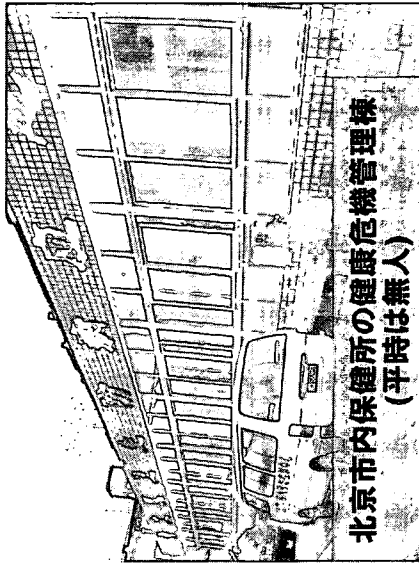
Question

▷ 問12 あなたは、事案の終息後(平常時)に何をやっておきますか？

行ったことは、以下の通りでした

▷ 答12

- ・専門家も加わった委員会による対策の評価
- ・報告書の作成(H-CRISIS事例集参照)
- ・他保健所・自治体への情報提供
- ・健康危機管理関係者による連携会議
(所内・地域)
- ・マニュアルの改訂
- ・訓練



平常時は無人ですが、大規模な健康危機が発生した際に利用する健康機器管理棟。内部には各種宿泊・各種の資機材が整備されている。

最後に

本事例を学習したあなたに。今度は自身が所属する地方自治体の健康危機管理関連マニュアルを、自分の眼で見、確認して下さい。今回のような事例があなたの地域で起こっても問題なく対応できるようになっていきますか？地域の状況に合わせて、必要ならば改訂を加えるなど準備を怠りなく。

健康危機管理研修におけるシミュレーションプログラムの開発・評価に関する研究

(その2)

分担研究者 郡山一明

研究要旨

保健所における鳥インフルエンザ担当者もしくは教育担当者が、鳥インフルエンザが発生した場合に対策を行う保健所職員のために、事前に行う教育について学ぶ媒体を作成した。作成には過去に事例を検証した。また、教育効果をあげるために、リスクチャートを作成して常にその概念のもとに教育が展開する「しかけ」とした。

A 研究目的

新型インフルエンザはWHOのフェーズではすでにフェーズ3から4に至っており、我が国においても健康危機管理の大きな課題である。新型インフルエンザ発生リスクを高くする鳥インフルエンザについては、すでにわが国でも養鶏場での集団発生事例がある。鳥インフルエンザ対応は農林部局と衛生部局、県と市町村という背景が異なる組織が統一的に稼働しなければならない。また保健担当部局は保健所をはじめとして、その対応に初動から関わることがもめられる。このため、鳥インフルエンザが発生した場合の保健所の対応について、保健所職員は一定の共通理解を事前におこなねばならない。

本研究は、保健所における鳥インフルエンザ担当者もしくは教育担当者が、鳥インフルエンザが発生した場合に対策を行う保健所職員のために、事前に行う教育について学ぶ媒体を作成することを目的としたものである。

B 研究方法

国内で発生した過去の鳥インフルエンザ事例の対応を自治体の報告書、報道発表をもとに時系列に並べた。これらを prospective に、どの時点でどのような対応が必要であったか、その

対応に科学的な問題はなかったかを含めて検証した。また、農林部局の対応を支援するためには、保健所がどの時点でどのような活動をするか良いかも検討した。これらに基づいて教育媒体を作成した。

C 研究成果

鳥インフルエンザ対応で保健所が行うべき対応には以下のようなポイントがあった。

I 予兆段階（確定前）

- ① 予兆段階での農林部局からの連絡体制
- ② 確認のために出向く調査員の健康管理
- ③ 養鶏場従事者の健康調査の準備
- ④ 地域内での新型インフルエンザへの移行がないことの確認作業
- ⑤ 確定後の所内体制構築

II（確定後）

- ① 防疫作業者の健康管理
- ② 防疫作業者の作業管理
- ③ 養鶏場従事者及び家族の健康管理
- ④ 地域住民への安全提供
- ⑤ 地域住民への安心提供

これらから教育媒体の内容を以下のように設定した。

まず、教育担当者自身が正確に概念を学ぶために、

- ① 発生事象とリスクレベル
 - ② 農林部局との連携
 - ③ 予兆
 - ④ 対応
 - ⑤ 保健所内の体制構築
 - ⑥ 確定後の保健所の行動
- について段階的に学ぶ内容を作成した。その後、職員研修をするためのノウハウを学べるようにした。
- ⑦ 職員研修の実施

D 考察

これら多様な対応を効果的に教育するためには、根源的な共通概念のもとに進めると効果的である。そこで、鳥インフルエンザに関するリスクチャートを作成して最初に示した(図1)。

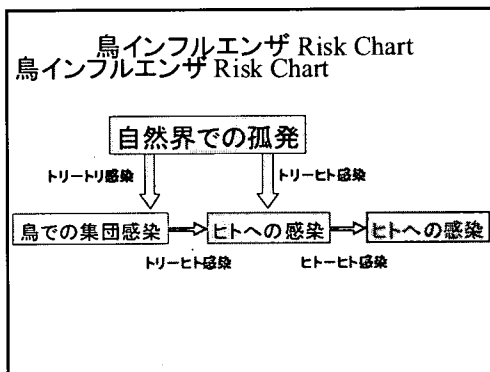


図1 鳥インフルエンザリスクチャート

WHOのフェーズは結果的にこのリスクチャート上に示すことができ、国の行動計画とも整合性をもって作成できた。

また、すべての対応についてこのリスクチャートと照合することができ(図2)、概念の理解には役立つと期待される。

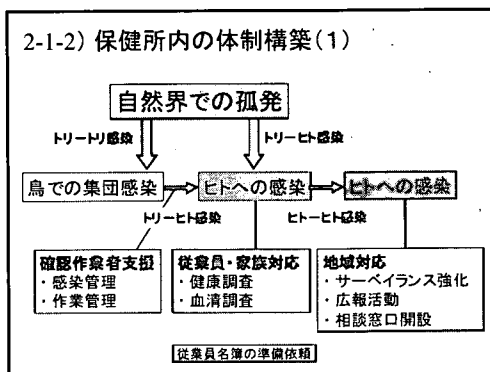


図2 保健所内の体制構築

本教育媒体は、e-learning としてHCR I S I Sで公開予定である。また、使用者の理解を深めるために、積極的に意見を求める予定である。既に北九州市、熊本県、宮崎県の保健担当関係者には試験的に配布を行ったところである。

E 結論

- ① 鳥インフルエンザの保健所教育媒体を作成した
- ② 教育担当者が人材育成できるプログラムとした
- ③ e-learning として使用するとともに、効果を検証する予定である。

F 研究発表

F. 1 論文発表

特になし。

F. 2 学会発表

e-learning で公開予定。

G 知的財産権の出願・登録状況

G-1 論文発表

特になし。

G-2 学会発表

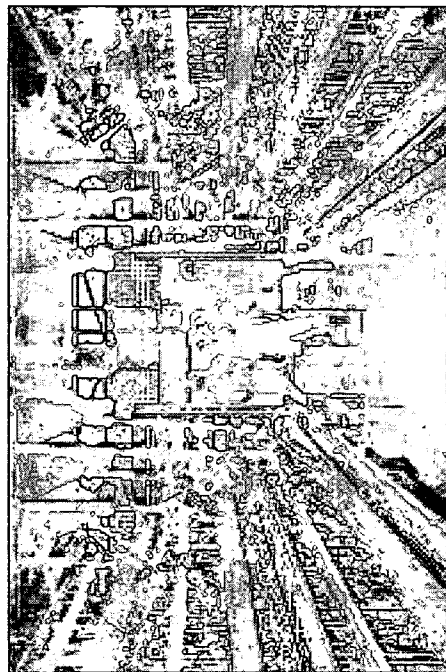
特になし。

G-3 学会発表

特になし。

保健所の鳥インフルエンザ対応

— 保健所職員研修を行う担当者のために —

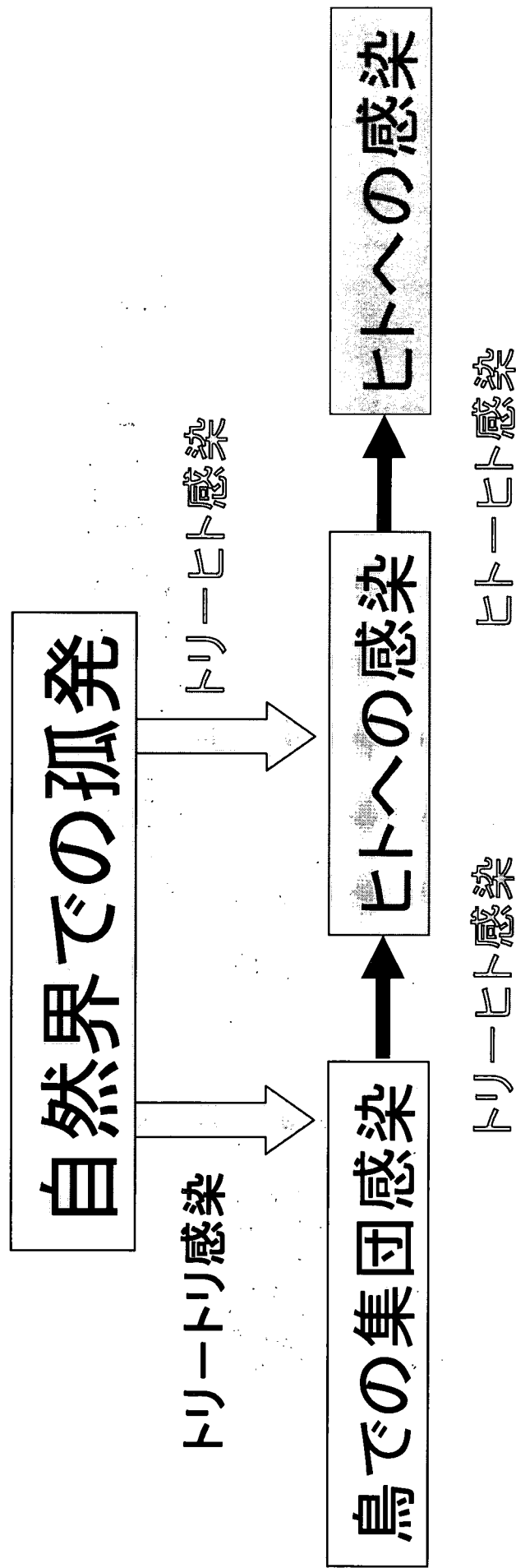


北九州市危機管理参与
郡山一明

Lesson 1

あなた自身の 理解のために

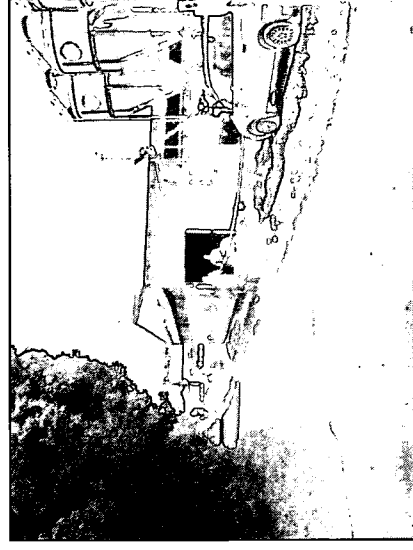
鳥インフルエンザ Risk Chart



場面A 鳥インフルエンザの疑い

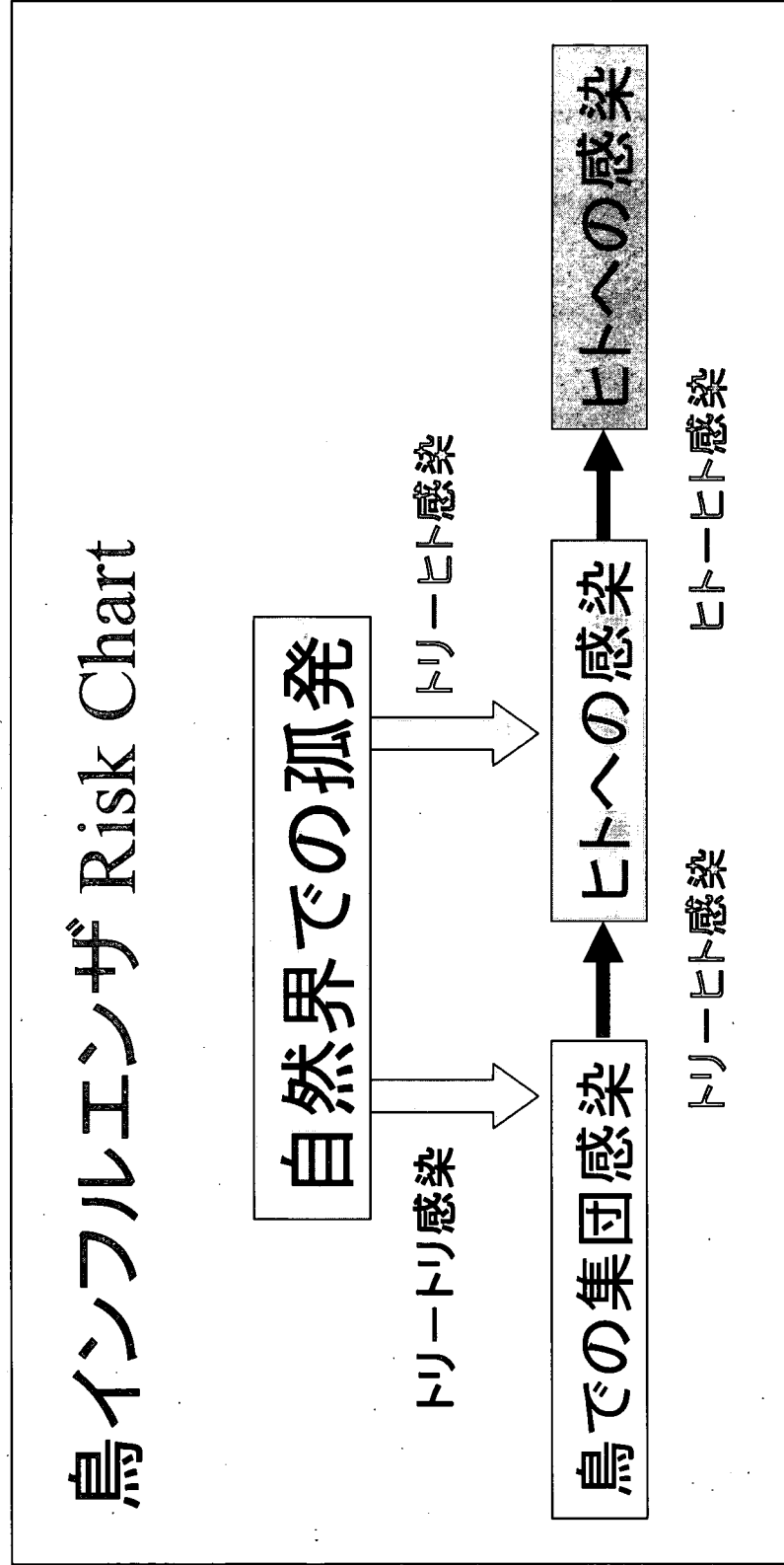
平成X年6月25日(金)
あなたが住むK市のA採卵養鶏場(約2万5千羽)においてここ数日間に大量の鳥が死亡した。

県農林部局は(独)動物衛生研究所へ検査を依頼しているとの情報あり。



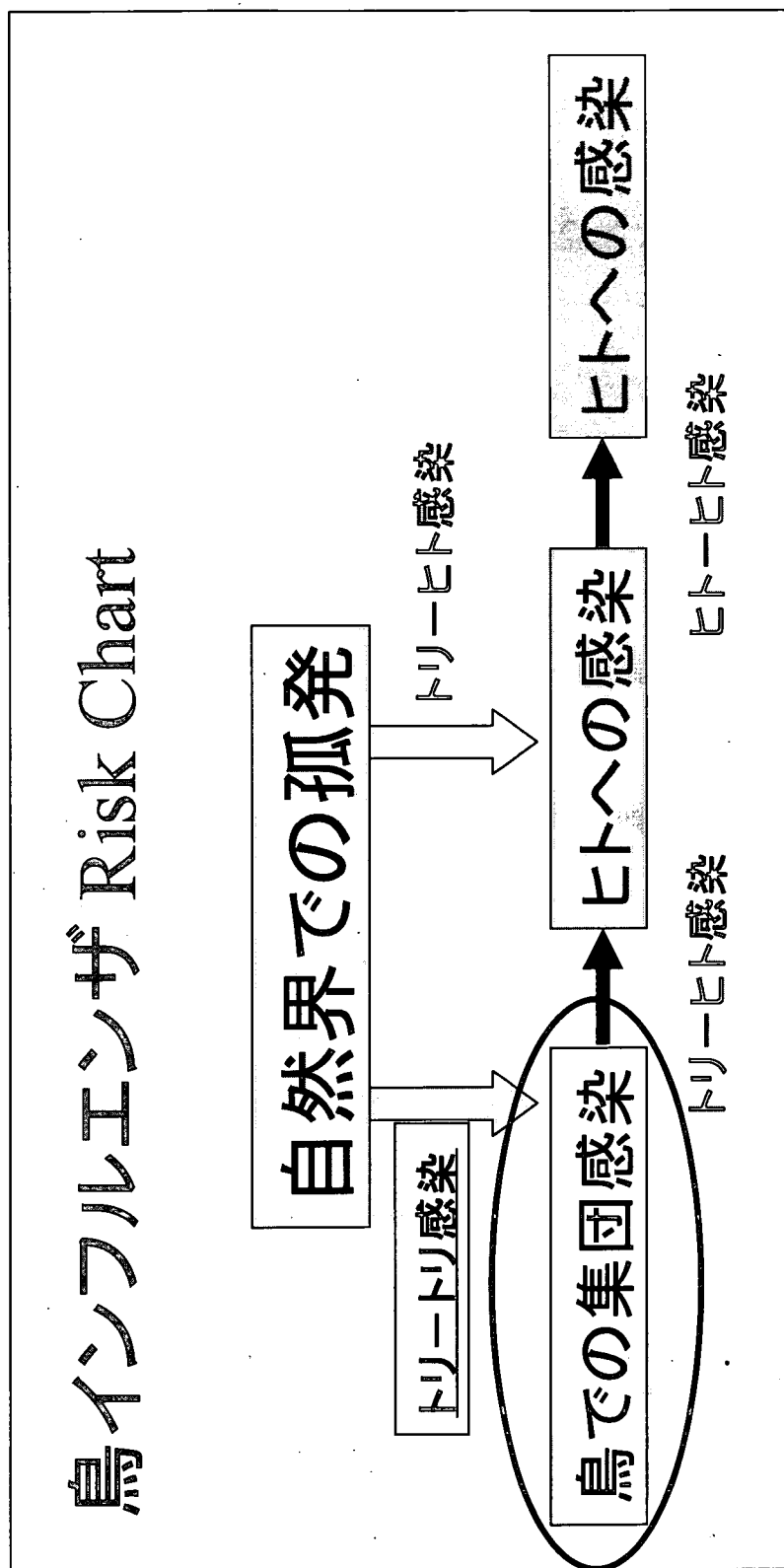
設問 1

現在の状況は次のリスクチャートのどこに相当しているでしょうか？



解答 1

- ・鳥での集団感染の可能性を示している
- ・トリ→トリ感染の疑い

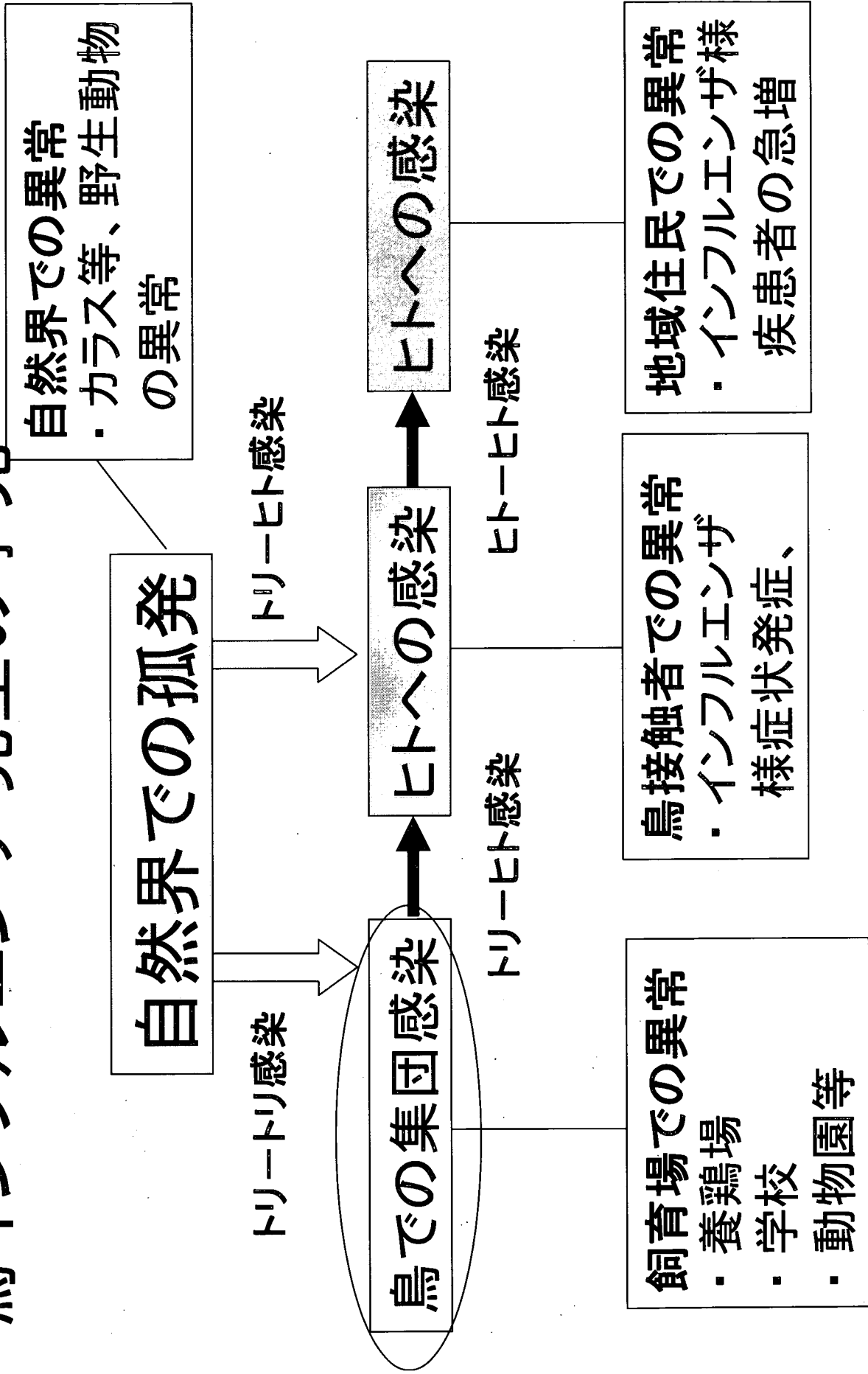


解説 1

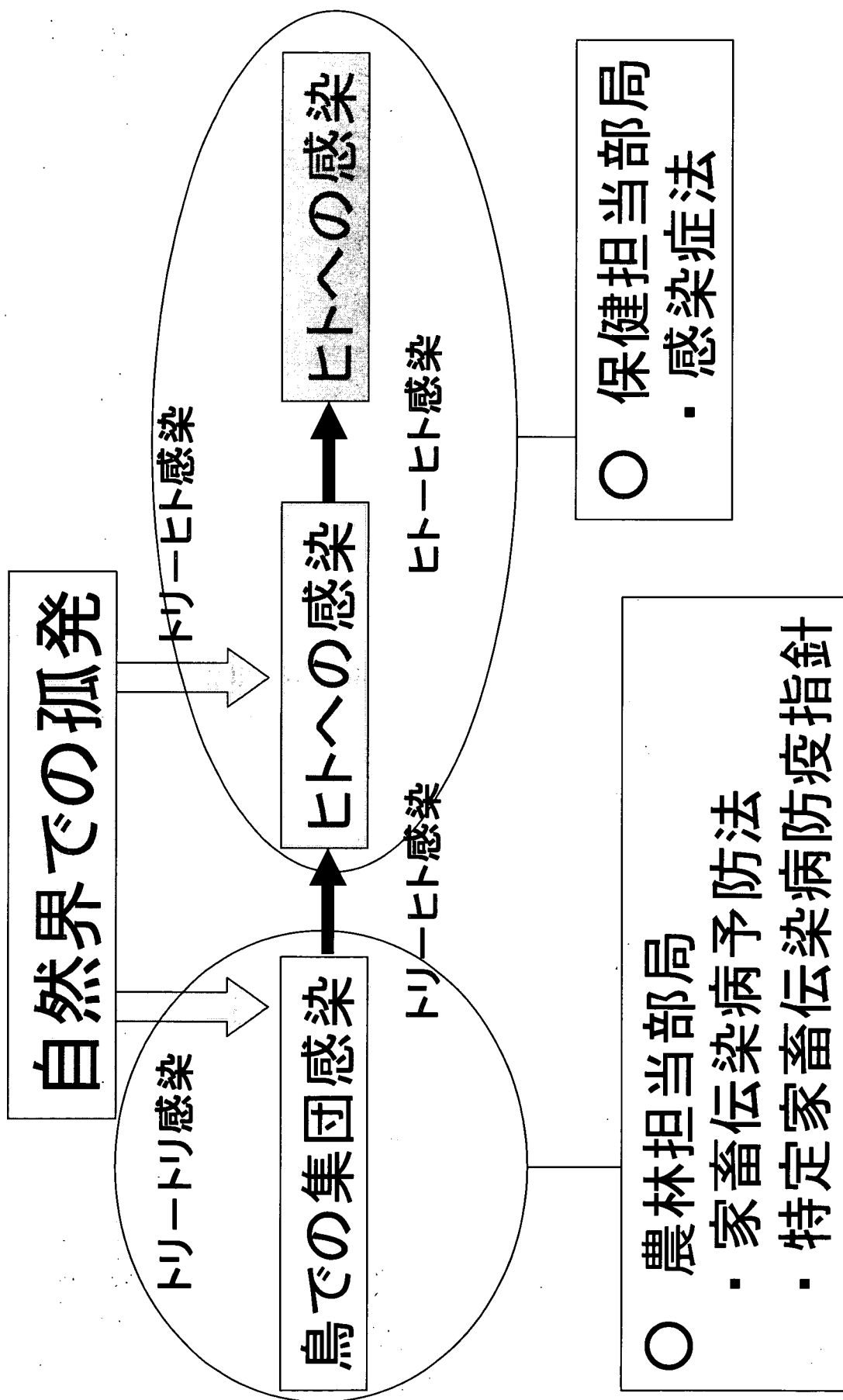
危機に対して冷静に対処できるためには、以下の2つができなければならない。

- ① 危機の段階を理解しており、
- ② 「現状はどの段階に位置するのか」を言える

鳥インフルエンザ発生の予兆



鳥インフルエンザ対策の関係部局



設問 2

現在の状況(予兆の段階)で
保健所は何を行ないますか？

2-1) 数時間以内に

2-2) 明日まで

解答 2

2-1) 数時間以内

2-1-1) 地域内での

異常事態の有無を確認

2-1-2) 保健所内体制の確立

2-2) 明日まで

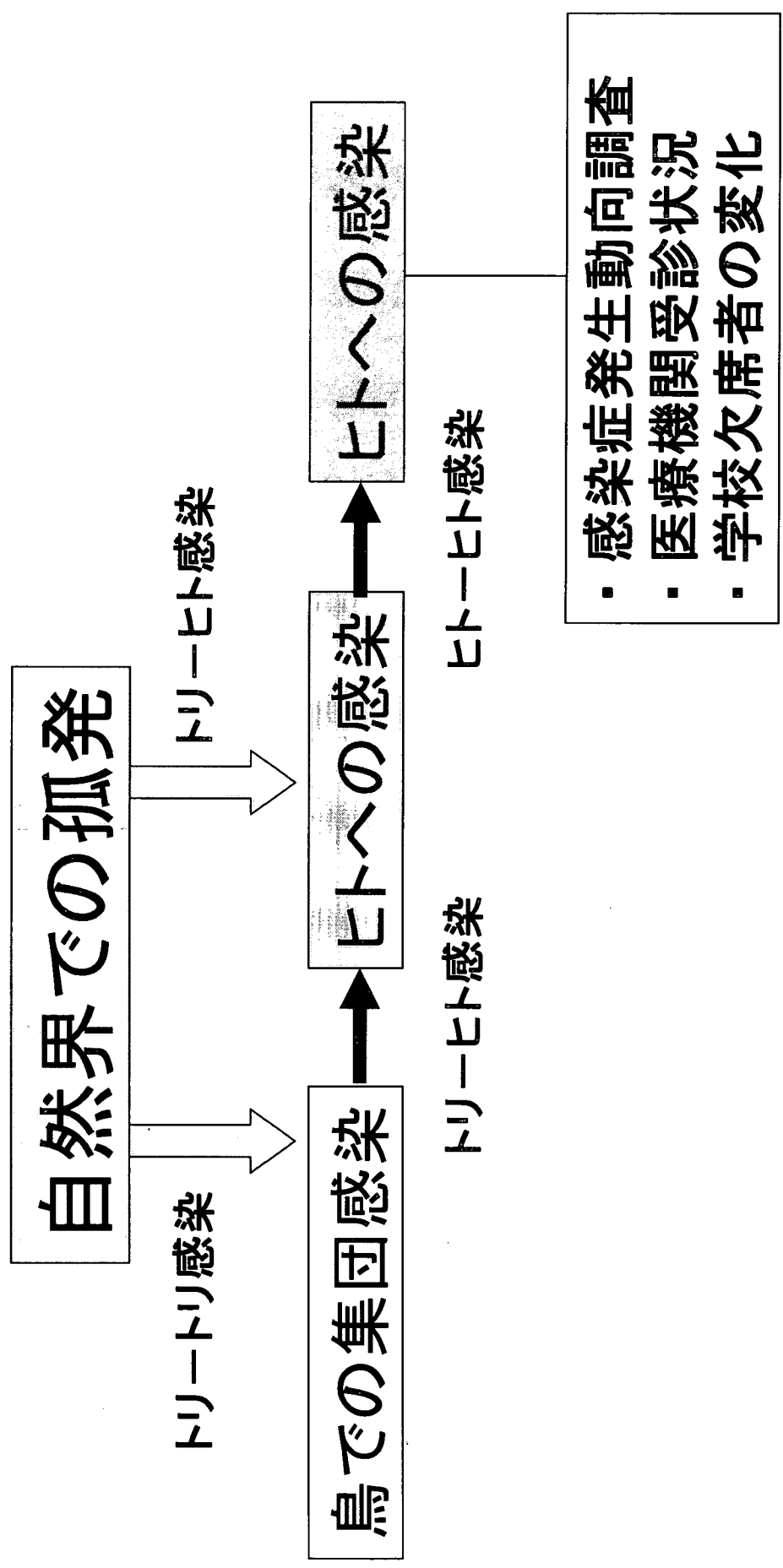
2-2-1) 従業員名簿の提出依頼準備

解説 2

対応には「重み」がある。
対応は「重い」ものから順次行う。
「重み」付けは危機管理の最大の課題である

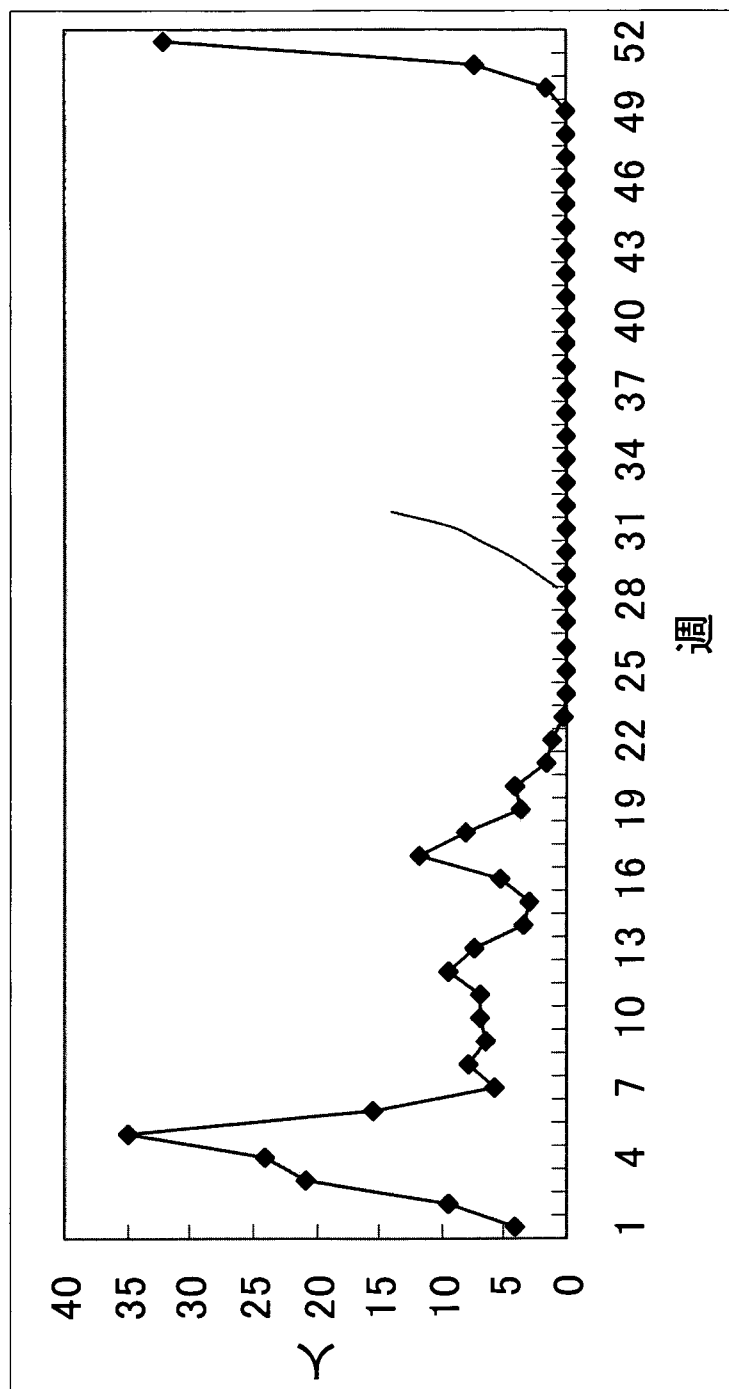
【ノート】	1918年	アメリカ	マサチューセッツ州
9月12日	風邪のような症状の患者を	1例	発見
9月18日	同様の患者数は	6000名	を越す
9月24日	患者数は	12,000名	を超え、700名が死亡

2-1-1) 地域内での異常事態の有無を確認



鳥インフルエンザのヒト-ヒト感染 (新型インフルエンザ発生)を疑わせる変化

(1) 季節はずれの有症状者増加



鳥インフルエンザのヒト-ヒト感染 (新型インフルエンザ発生)を疑わせる変化

(2) 特定の地域での有症状者増加

